

株式会社 ナガセ



代表取締役
長瀬 透

東京都
武蔵村山市伊奈平3-21-3

1968年(昭和43年)設立
TEL 042-560-6253

<http://www.nagase-shibori.co.jp/>

ロケット部品から鍋まで
造る職人技が光る
「へら絞り」の
リーディングカンパニー

機械では決して作り得ない匠の「技」。技術の高さは、職人の勘とその経験による「技」がすべて。昭和20年の創業以来、一貫して「へら絞り」技術を磨き、不可能を可能にチャレンジしている。

軸対象の製品ならば何でも加工

「へら絞り」の最大の特徴は、軸対象の製品ならば何でも加工できること。プレス加工で不可能な複雑形状も一工程で加工が可能であることに大きな利点がある。

金型の低コスト化（雌型が不要）、大型製品（ロケット部品）の加工が可能など利点が多く、へら絞り技術が様々な分野で不可欠となっている。

少ない初期投資で製作が可能に

雄型1個あれば、後は「へら絞り」加工。初期投資が安く出来ることや、機械加工で困難な薄肉のパイプ形状の製作が可能となっており、プレス、切削など他の加工方法では出来ない「へら絞り」の特徴がある。

同社は、ロケット部品、真空装置試作から日用品の量産まで対応できる総合的受注生産工場としての体制を確立している。



職人によるへら絞り

職人技の伝承と、ソフト化により高い技術力を維持

「へら絞り」という特殊技術を根底としながら、省力化機器の導入も積極的に行ない、手法技術（職人技）とNCソフト、機械技術のドッキングによる品質のさらなる向上を目指し、自動へら絞り機を導入し、高い技術水準の維持を図っている。



加工例・真空装置部品



VF-T1500スピニングマシン